



# 宮田中だより 2023年 9月号



電話 045-331-5288

## 伝えなければならないこと

校長 村井 法泰

2学期がスタートしました。私は、今年の夏休みもスポーツを中心に、日本人が世界を舞台に活躍する姿に、連日一喜一憂して過ごしていました。

敢えて「日本人」としましたが、私が子どもだった50年以上前、特にスポーツの分野で「世界で活躍する」「世界を制する」ことは、多くの日本人にとって夢物語であったように思います。それが今や、10代、20代を中心に様々な分野で堂々と世界の舞台に立つ人々の活躍が、当たり前のように伝えられています。今年3月WBC決勝戦前の大谷選手のスピーチの中の、「憧れるのをやめましょう」を体現する人たちがこれほど多くなるとは、隔世の感を否めません。

さて、夏休み中には記憶にとどめておかなければならない日がありました。8月6日、9日、15日と聞いて、生徒の皆さんは思い当たることができるでしょうか？そして9月1日は関東大震災が起きた日。今年は発災から100年が経ちました。本校でも、毎年この時期に避難訓練を行い、防災意識を新たにしたいと考えています。

私は小学生の頃、祖母から関東大震災の話聞いた記憶があります。大地震の凄さ、恐ろしさは祖母の話から十分伝わってきました。ところが今の中学生にとっては、教科書で学ぶ歴史の一部です。太平洋戦争も、東京や横浜の大空襲も、子どもたちに語れる人はほとんどいなくなりつつあります。地下鉄サリン事件、阪神・淡路大震災も、今の中学生が生まれるより遙か前の出来事です。21世紀になって起こった、2001年9月11日のアメリカ同時多発テロでさえ、生徒たちが生まれる遙か以前の話になってしまいました。2011年3月11日の東日本大震災も、幼い日の記憶に残っているでしょうか。

個人的な話になりますが、若い頃バックパッカーとして初めて海外旅行をしました。旅の目的は「アメリカ大陸横断」。いちばん最初に訪れた場所はニューヨークのワールドトレードセンタービル、ツインタワーの屋上でした。高さ400メートル以上のところにある屋上の低い手すりから恐る恐るマンハッタンの街並みを見下ろし、これから始まる1か月間のアメリカの1人旅に緊張と胸の高鳴りを覚えました。2001年、同時多発テロが起き、ビルが倒壊した時には、自分が屋上から眺めた景色が思い出され、信じられない気持ちになりました。また、当時友人・知人がニューヨークで生活しており、なかなか連絡がつかず心配ばかりが膨らみました。後になり、幸い無事であることがわかってほっとすると同時に、安心して暮らす日常が一瞬にして変わることに恐ろしさを感じました。

自分がリアルタイムで経験した大きな出来事や、自分が経験していない震災・戦争などの話を、後の世代にどのように伝えればよいでしょうか。我々は教師として、また人生の先を歩く先輩として、直接・間接の経験で自分がその時感じた思いを、子ども達に伝えていくことが大切だと考えます。子ども達が我々の話から何かを感じ、自ら向き合う種を蒔くことが、教師・大人の大切な責務だと思います。そして子どもたちには、自分たちの経験と記憶に向き合い、次の世代へと伝えることを託したいと思います。

# 学校行事予定表

9月		授業日数 20日	完全下校時刻 5校時 16:45 6校時 17:30		
日	曜	昼食	行事内容	生徒会	備考
1	金	○	総合防災訓練 教育相談		
2	土				
3	日				
4	月	○			完全下校14:35 SC
5	火	○			完全下校14:35
6	水	○		専門委員会 選挙管理委員会	体操着販売
7	木	○		体育祭実行委員会 文化祭実行委員会	
8	金	○			
9	土				
10	日				
11	月	○	個別級区交流会 (大池公園)		完全下校15:35 SC SSW
12	火	○	教育実習 (~10/3)	学年代表委員会	
13	水	○			
14	木	○		評議会	
15	金	○			
16	土				
17	日				
18	月		敬老の日		
19	火	○			体育祭関係のみ残留可 SC
20	水	○			体操着販売
21	木	○			
22	金	○			
23	土		秋分の日		
24	日				
25	月	○			体育祭関係のみ残留可 SC 雨天時 予行⇒A4,総
26	火	○			25日雨天時 A4,総⇒予行
27	水	○	体育祭		雨天時 A4,A5,A6,学 (昼食後下校)
28	木	○	体育祭予備日	学年代表委員会	27日雨天時 体育祭
29	金	○	3年 英語検定		卒業アルバム写真撮影 (個人写真)
30	土				

「つながる、広げる、いじめの未然防止の輪」  
～いじめをなくすために、一人ひとりができること～  
「横浜子ども会議」

先日、8月31日(木)保土ヶ谷公会堂で保土ヶ谷区の中学校ブロックでの「横浜子ども会議」が開催されました。、R2～R4はコロナウイルス感染症拡大の関係で縮小、紙面での3年間でしたが、今年度は横浜市立桜丘高等学校も参加し、コロナ前と同様に各ブロック元気に小学生、中学生が、ひとつとなって発表してくれました。

### 子ども会議の目的

○横浜の将来を担う子どもたちが「いじめ」を自分たちの問題として捉え、だれもが安心して生活できる、いじめの起こりにくい子ども社会をつくらうとする意欲を引出します。  
○全児童生徒による「いじめ問題」に対する様々な話し合いや具体的な活動を通して、よりよい生活や人間関係を築こうとする子どもの自主的・実践的な態度を育みます。  
○「横浜子ども会議」から気づいたことや学んだこと等を、自校の「いじめ防止」に関わる子どもの主体的な取組や日常の活動の充実につなげます。

### 令和5年度テーマ

「つながる、広げる、いじめの未然防止の輪」  
～いじめをなくすために、一人ひとりができること～

宮田中ブロック(宮田中・帷子小・峯小)

### 【 宮田中の取組 】

- ・いじめ防止アンケート
- ・いじめに関するポスター制作 など

### 【 帷子小の取組 】

- ・他学年との交流
- ・困っている人のお助け など

### 【 峯小の取組 】

- ・挨拶運動
- ・行事を通して他学年との交流 など

ブロックの中では、コロナ感染拡大防止措置が緩和されたことにより、他学年との縦の繋がりも可能になった今だからこそ、友だちへの「思いやり」や自分への「思いやり」といったことを大切にしていきたいと考えている。

さらに、12月1日(金)は、今回の区交流会で他のブロックの取組を見て、自分たちのブロックの取組について再度振り返り・見直す、いじめ防止市民フォーラム(市庁舎1Fアトリウム)を開催予定。内容は実践発表会(ポスターセッション)など

